

令和8年度 北海道中学校体育大会 第57回 北海道中学校体操競技・新体操大会 開催要項

1. 主催 北海道中学校体育連盟・北海道教育委員会・釧路市教育委員会・北海道体操連盟
2. 主管 釧路地区中学校体育連盟・釧路体操連盟
3. 後援 北海道・釧路市・北海道都市教育委員会連絡協議会・北海道町村教育委員会連合会
北海道中学校長会・釧路市小中学校校長会・(公財)北海道スポーツ協会・釧路市スポーツ協会
北海道PTA連合会・札幌市PTA協議会
4. 会期 令和8年(2026年)8月3日(月)・4日(火)・5日(水)・6日(木)
5. 会場 ウインドヒルくしろスーパーアリーナ(湿原の風アリーナ釧路)
〒085-0064 釧路市広里18番地 電話 0154-38-9800
*開会式・閉会式は、行わない。

6. 競技種目 **体操競技の部**
- (1) 一部
- ①男子団体総合選手権 (ゆか、跳馬、鉄棒の自由演技)
 - ②女子団体総合選手権 (跳馬、平均台、ゆかの自由演技) ※ゆか～音楽伴奏付き
 - ③男子個人総合選手権 (ゆか、あん馬、跳馬、鉄棒の自由演技)
 - ④女子個人総合選手権 (跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの自由演技) ※ゆか～音楽伴奏付き
- (2) 二部
- ①男子団体総合選手権 (ゆか、跳馬、鉄棒の自由演技)
 - ②女子団体総合選手権 (跳馬、平均台、ゆかの規定演技)
 - ③男子個人総合選手権 (ゆか、跳馬、鉄棒の自由演技)
 - ④女子個人総合選手権 (跳馬、平均台、ゆかの規定演技)
- 新体操の部**
- ①男子団体総合選手権 (徒手5による自由演技) ※音楽伴奏付き
 - ②女子団体総合選手権 (リボン5による自由演技) ※音楽伴奏付き
 - ③男子個人総合選手権 (ロープとクラブによる自由演技) ※音楽伴奏付き
 - ④女子個人総合選手権 (ボールとフープによる自由演技) ※音楽伴奏付き

7. 日程

		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
8月3日 第1日目 (月)	諸会議						専門委員会					
	体操競技男子一部				器具セット							
	体操競技女子一部											
	体操競技男子二部											
	体操競技女子二部											
新体操男子						器具セット	公式練習	競技				
新体操女子												
8月4日 第2日目 (火)	体操競技男子一部											
	体操競技女子一部											
	体操競技男子二部						器具セット	公式練習				
	体操競技女子二部											
	新体操男子		公式練習	競技			器具カット	表彰				
新体操女子												
8月5日 第3日目 (水)	体操競技男子一部						器具セット	公式練習				
	体操競技女子一部											
	体操競技男子二部		公式練習	競技			表彰					
	体操競技女子二部											
	新体操男子											
新体操女子												
8月6日 第4日目 (木)	体操競技男子一部		公式練習	競技			器具撤去		表彰			
	体操競技女子一部						体操全国大会 代表選手の 監督会議 14:20～					
	体操競技男子二部											
	体操競技女子二部											
	新体操男子											
新体操女子												

☆公式練習の時間、及び正式な日程については、申し込み終了後10日程度で北海道中体連ホームページ<https://www.do-jpa.com/>に掲載する。

8. 大会開催区分 北海道を21地区中体連に分けて行う。

9. 参加資格

- (1) 北海道中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、北海道中学校体育大会への出場資格を得、当該学校長及び当該地区中体連会長が出場を認めた生徒とする。
- (2) 年齢は、平成23年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和8年6月30日までに北海道中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。ただし、市町村教育委員会の判断に基づき、学校長がやむを得ないと判断した場合には、外部指導者のみの引率及び監督業務の遂行を認める。
- (5) 外部指導者または、テクニカルアドバイザー（選手が所属している中学校以外の中学校の教員）は校長が認めた者で北海道中学校体育連盟に登録された者のみ競技フロアでの補助活動ができる。但し、監督会議には出席できない。（監督として認められている外部指導者についてはその限りでない。）
- (6) 監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置が無いこと。
- (7) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。
- (8) 同一年度内の参加は1人1競技とする。但し、夏季競技と冬季競技の重複は認めるものとする。

北海道中学校体育大会における参加の特例

◎学校教育法 134 条の各種学校在籍生徒

- ①学校教育法第 134 条の各種学校（第 1 条に掲げるもの以外）に在籍し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
- ②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
 - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年令及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
 - B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 北海道中学校体育大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

◎認定地域クラブ活動に所属する中学生

- ①「北海道中学校体育大会開催基準」を満たし、その内容の履行を了承していること。
- ②『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』（令和 7 年 12 月 22 日 文部科学省）（以下、「改訂ガイドライン」と言う。）に基づいた「認定地域クラブ活動」を実施している市区町村において、当該自治体に認定された地域クラブ活動に所属した生徒であること。
- ③改訂ガイドラインに基づいて認定された「認定地域クラブ活動」として、全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、「令和 8 年度 北海道中学校体育大会 地域クラブ活動の参加特例 各競技の細則について」及び「全国中学校体育大会 地域クラブ活動の参加資格の特例各競技部細則」は適用されない。
- ④認定内容の虚偽が判明するなどして、当該自治体において認定を取り消された場合、本連盟登録承認後であっても登録ならびに大会参加を認めない措置をとる。
- ⑤改訂ガイドラインに基づいた「認定地域クラブ活動」を実施している市区町村において、当該自治体に認定されていない地域クラブ活動は、参加を認めない。ただし、当該自治体における認定制度開始日から 2 年間を猶予期間とし、「地域クラブ活動」としての参加は認める。（「令和 8 年度『地域クラブ活動』における北海道中学校体育連盟登録申請要項」を確認の上、申請すること。）
- ⑥学校部活動、認定地域クラブ活動及び地域クラブ活動のいずれかから、1 つのみ全国中学校体育大会につながる大会に参加することができる。重複は認めない。

◎地域クラブ活動に所属する中学生

- ①地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
- ②北海道中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
 - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - ウ 地域クラブ活動にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに適切に行われていること。
 - エ 『運動部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
 - オ 当該競技を管轄する北海道競技団体もしくは地区競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で地区中学校体育連盟に登録していること。
 - カ 北海道における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
 - キ 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
 - B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 北海道中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - ウ 北海道中学校体育大会への参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）
 - C 参加を認めない場合
 - ア 北海道中学校体育大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
 - イ 改訂ガイドラインに基づいた「認定地域クラブ活動」を実施している市区町村において、当該自治体に認定されていない地域クラブ活動は、参加を認めない。ただし、当該自治体における認定制度開始日から2年間を猶予期間とし、「地域クラブ活動」としての参加は認める。（「令和8年度『地域クラブ活動』における北海道中学校体育連盟登録申請要項」を確認の上、申請すること。）

③北海道中学校体操競技・新体操大会の大会参加に関する細則

<体操競技>

- A 大会参加について
 - ア 団体・個人ともに参加を認める。ただし、団体での参加の場合は団体選手の全員が「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっているクラブ活動」又は同一学校に在籍していることを条件とする。
 - イ 予選大会への参加は、地域クラブ活動の北海道中体連登録住所、および北海道体操連盟加盟住所からの参加を認める。
 - ウ 全道大会、全国大会への団体出場枠について、大会の趣旨を考慮し、以下の制限を設ける。
 - ・全道大会団体出場枠が複数与えられている場合、少なくとも1枠は学校登録団体とする。学校登録団体がない場合には、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）登録団体から補充する。1枠の場合は優勝団体とする。
 - エ 地域クラブ活動が団体として大会参加をする場合、クラブに所属していない同一校の他の生徒が学校団体として団体を組み大会に参加することはできる。ただし、同一校生徒により構成された2つの団体のうち上位団体のみが全道大会に進むことができる。
- B 北海道中体連登録について
 - ア 北海道体操連盟に加盟していることを条件とし、地区中体連（北海道中体連）への登

録を行う。登録については地区中体連（北海道中体連）の登録要項に従う。

イ 登録は、地域クラブ活動の所在地で行う。加盟する体操協会と同一地区とする。

C その他

ア 生徒の心身の健康を最優先に考慮し、中体連大会とジュニアクラブ大会が過密になる場合には出場する大会を丁寧を選び、生徒の負担が過剰にならないようにする。

イ 全道大会の予選会となる全ての大会において、大会準備・大会運営・審判業務に役員として協力しなければならない。要請がある場合は会議等にも参加する。また、中体連体操専門部員に準じる役職に就くこともあり得る。

ウ 全ての大会において北海道中体連体操競技・新体操専門委員会の規則、運営方針を尊重し、指示に従うこと。

エ 予選大会を含む全ての大会において、参加条件・申請内容に虚偽が判明した場合には参加を認めない。

オ 北海道中体連登録以降に転校や地域クラブ活動を移籍する場合、予選大会で上位大会への参加権を獲得していない生徒は、転校先や移籍先からの大会参加は認めない。また、権利を得ている生徒については個人としての参加を認める。ただし、当該生徒の予選大会での得点が個人での予選通過得点を下回る場合には、参加は認められない。

カ 転校や地域クラブ活動移籍後の大会参加について、全国大会終了後に関しては北海道中体連体操競技・新体操専門委員会の判断に委ねる。

キ 一緒に活動する団体を複数の地域クラブ活動として北海道中体連に登録することはできない。

ク 地域クラブ活動が一つの団体として北海道中体連に登録することはできない。

ケ 地域クラブ活動として中体連主催の大会に参加する場合には、当該生徒の所属校長に報告をすること。北海道中体連から指示がない場合には、書面で通知する（書式任意）。

コ 体操競技部細則については、必要に応じて見直しを行っていくこととする。

<新体操>

地域クラブ活動より全国中学校体育大会を含む予選大会に出場する場合は、以下の条件を満たしていること。また、各予選会の実施方法、参加方法については北海道中学校体育大会開催基準に従うことを条件とする。

ア 日本中学校体育連盟が示した参加規程を遵守している。

イ 継続的に活動し、日本体操協会の所属団体及び指導者の登録をしている。

ウ 予選大会は地域クラブ活動の北海道中体連および都道府県体操協会の登録住所からの参加を認める。

※所属団体の所在地と登録する地区は同じであることとする。

エ 予選大会は選手の所属学校または選手の所属する地域クラブ活動の地区から出場できる。重複して異なる地域からの出場は認めない。地域クラブ活動の場合は、加盟した地区より出場できる。

オ 予選大会のエントリーは、監督及び選手は一人につき一所属とする。

※1 選手は所属クラブと在籍学校の重複エントリーはできない。同所属からのエントリーのみ個人、団体の両方に出場することができる。

※2 予選大会の監督は上記（2）の登録を済ませている者で、他の所属の監督としては予選大会に参加できない。

カ 令和8年度の団体選手は全員が、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっているクラブ活動」又は同一学校に在籍していることを条件とする。

キ 団体の出場については、各所属から1チームのみとする。同一クラブチームからの部活動とクラブチームの2チーム出場は、同じクラブチームから2チームとみなすことができるため 出場は不可とする。

ク 地域クラブ活動の出場を認めた全ての大会において、競技役員や審判員などの運営上必要な人員を派遣しなければならない。

ケ 予選大会において、参加条件、申請内容等に虚偽があった判明した場合には参加を認めない。

(9) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。

10. 参加チーム・人数

体操競技の部

(1) 一部・二部の団体総合選手権出場について

①各学校および地域クラブ活動は、体操競技の全ての地区中体連および一部・二部を通して、男女各1チームのみ参加することができる。但し、地域クラブ活動で参加の場合は、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっているクラ

ブ活動」又はすべての選手が同一学校に在籍していることのいずれかを満たすことを条件とする。
 ②全道大会への出場は、各地区中体連一部は男女とも出場数の制限なし。二部は男女各3チーム以内とする。監督は1名、選手は3～4名、補欠は2名以内で構成する。開催地は別に、男女二部各1チームの出場を認める。

- (2) 一部・二部の個人総合選手権出場について
 ①各地区中体連団体総合選手権出場者を除く、男女各5名以内とする。ただし、開催地は別に男女各3名の出場を認める。
 ②令和7年度までの全道大会において個人総合3位以内の選手は、二部にエントリーすることができない。
- ※ なお、一部・二部団体総合選手権出場者は、個人総合選手権を兼ねることができる。ただし、一部男子はあん馬、同女子は段違い平行棒を実施しなければならない。

新体操の部

- (1) 団体総合選手権出場について
 ①各学校および地域クラブ活動は、新体操競技の全ての地区中体連を通して、男女各1チームのみ参加することができる。但し、地域クラブ活動で参加の場合は、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっているクラブ活動」又はすべての選手が同一学校に在籍していることのいずれかを満たすことを条件とする。
 ②全道大会への出場は、各地区中体連男女各2チームまでとする。監督1名、男女とも選手8名以内とする。
- (2) 個人総合選手権出場について
 次の表のように、前年度地区または全道大会参加人数によって、出場枠を定める。ただし、開催地は別に男子2名、女子2名の出場を認める。

地区	札幌	石狩	旭川	函館	渡島	南空知	全十勝	その他
男子出場枠	2	1 5	2	2	2	2	2	2
女子出場枠	1 5	8	5	9	2	2	3	2

11. 大会規則

体操競技の部

- (1) 一部
 ①男子・・・(公財)日本体操協会制定2025年版男子採点規則・2025年版中学校男子適用規則(U-15)を採用する。
 ②女子・・・(公財)日本体操協会制定2025年版女子採点規則・変更規則I・女子体操競技情報最新版を採用する。
 ③着地マットは会場にあるものを使用する。
- (2) 二部
 ①男子・・・北海道中学校体育連盟令和7年(2025年)版、体操競技男子2部規則を採用する。(自由演技)
 ②女子・・・北海道中学校体育連盟令和2年(2020年)版、体操競技女子2部規則を採用する。(規定演技)
- (3) 競技服装について
 ①参加選手は、学校名またはマークをつける。男子の大きさは、3cm×3cm以上を推奨とする。女子の大きさは、30cm²以上を推奨する。団体選手は、同一のユニフォームを着用し、マークも同一のものでなければならない。
 ②参加選手は、ゼッケン番号用の白布(タテ10cm・ヨコ13cm)を男子は黒字、女子は赤字で用意し背中につける。なお、ゼッケン番号は、後日北海道中体連ホームページ<https://www.do-jpa.com/>に掲載する。
- (4) 器具寸度表

	種目	1部	2部	マット厚 (1・2部共通)	追加補助 マット
男子	あん馬	115cm		10cmまたは12cm	
	跳馬	125cm	120cm	20cmまたは18cm	10cm
	鉄棒	275cm	275cm	20cmまたは18cm	10cm
女子	跳馬	125cm	115cm	20cm	5cmまたは10cm
	段違い 平行棒	低棒:175cm 高棒:255cm バー間隔:130~180cm		20cmまたは12cm	5cmまたは10cm
	平均台	120cm 125cm	120cm 125cm	12cm 20cm	5cmまたは10cm 5cmまたは10cm

※器具の高さはすべて床面からとする。

新体操の部

(1) 適用規則

- ①男子・・・(公財)日本体操協会制定新体操男子2025年版採点規則・ジュニアルール。
- ②女子・・・(公財)日本体操協会制定新体操女子採点規則2025～2028年度ジュニアルール、一部中体連ルールを適用する。最新ニュースレターまでを採用する。

(2) 競技方法

① 団体

- ・同一校8名でチームを編成し、徒手で自由演技のみ4～5名で行う規定時間は2分15秒から2分30秒とする。
- ・女子：同一校8名でチームを編成し、自由演技のみを5名で行う。女子の令和8年度(2026年度)の用具はリボンとする。規定時間は、2分15秒～2分30秒とする。

② 個人

- ・男子は「ロープ」及び「クラブ」、女子は「ボール」及び「フープ」の2種目を行う。演技時間は1分15秒～1分30秒とする。
- ・個人総合は2種目の合計点により、順位を決定する。
- ・種目別は、各種目別の自由演技の得点により順位を決定する。

(3) 競技服装について

- ①参加選手は、学校名またはマーク(大きさは3×3cm)をつけ、団体選手は、同一のユニフォームを着用する。ゼッケンはつけなくてよい。

※ 選手の交替について(体操競技・新体操共通)

選手の交替については、体操競技の団体選手権出場者に限り、競技前日までの申し出により補欠と交替することができる。但し、予期しない怪我等による場合は、大会本部の判断となる。

12. 参加料

団体総合選手権については、1チームにつき30,000円とする。

個人総合選手権については、1名につき3,500円とする。

ただし、体操競技団体総合選手権に出場する正選手は、個人総合選手権の参加料は不要である。

13. 表彰

体操競技の部

(1) 一部

- ①団体総合選手権 ※補欠選手については、メダルと賞状の授与はしない。賞状は、各チーム1枚とする。
男女とも3種目のベスト3の合計点により順位を決定し、1～3位まで表彰する。
1位 優勝旗・メダル・賞状 2・3位 メダル・賞状
- ②個人総合選手権
男女とも4種目の合計点により順位を決定し、1～6位まで表彰する。
1位～3位 メダル・賞状 4位～6位 賞状
- ③種目別選手権
男女とも各種目の得点により順位を決定し、1～3位まで表彰する。
1位～3位 メダル・賞状

(2) 二部

- ①団体総合選手権 ※補欠選手については、メダルと賞状の授与はしない。賞状は、各チーム1枚とする。
男女3種目のベスト3の合計点により順位を決定し、1～3位まで表彰する。
1位 優勝旗・メダル・賞状 2・3位 メダル・賞状
- ②個人総合選手権
男女3種目の合計点により順位を決定し、1～6位まで表彰する。
1位～3位 メダル・賞状 4位～6位 賞状
- ③種目別選手権
男女各種目の得点により順位を決定し、1～3位まで表彰する。
1位～3位 メダル・賞状

新体操の部

- ①団体総合選手権 ※補欠選手については、メダルと賞状の授与はしない。賞状は、各チーム1枚とする。
男女とも演技の得点により順位を決定し、1～3位まで表彰する。
1位 優勝旗または優勝杯・メダル・賞状 2・3位 メダル・賞状
- ②個人総合選手権
男女とも2種目の演技の合計点により順位を決定し、1～6位まで表彰する。
1位～3位 メダル・賞状 4位～6位 賞状
- ③種目別選手権
男女とも各種目の得点により順位を決定し、1～3位まで表彰する。
1位～3位 メダル・賞状

14. 大会参加申し込み

(1)各地区中体連事務局を通じ、所定の申込書・参加料納付書に必要事項を記入して申し込むこと。

(2)競技日程及びゼッケン番号は申し込み終了後10日程度で北海道中体連ホームページ

<https://www.do-jpa.com/>に掲載する。

- (3)各地区中体連事務局または地区大会当番校は出場選手を確認し、学校名と選手名をまとめて下記送付先へメール（FAX）をすること。出場選手がない場合も「出場選手なし」とメール（FAX）すること。
- (4)参加料は下記の口座に振り込むこと。
- (5)予選の関係で期日が間に合わない地区は、地区大会終了後早急にメール（FAX）で大会事務局宛てに参加申し込みをすること。（正式申し込み書類も早急に送付すること。）

・締切日 令和8年（2026年）7月10日（金） 必着厳守

・送付・連絡・問い合わせ先
〒084-0907 釧路市鳥取北9丁目7-1
釧路市立鳥取西中学校
第57回北海道中学校体操競技・新体操大会事務局 宛て
TEL 0154-53-0211 FAX 0154-53-0212
E-mail kushiro_chutairen@yahoo.co.jp

・参加料振込先
釧路信用金庫 西港支店 店番号「103」 口座番号（普）「1182201」
北海道中学校体操競技・新体操大会 実行委員長 村岡 愛司
(ホッカイトウチユカ ヲコウタイウキョウギ・シナイウタカイ ジッコウインチョウ ムラカアイジ)

15. 宿 泊 指定業者による紹介を実施する。

16. 全国大会への参加

- (1)体操競技は男女とも、全国大会出場基準を満たしている中で最も順位の高い、一部団体総合選手権チーム、及び、そのメンバーを除く一部個人総合選手権上位3名が、北海道代表として全国大会への出場が認められる。
期日：令和8年(2026年)8月20日(木)～22日(土)
会場：広島県福山市：エフピコアリーナふくやま（福山市総合体育館）
- (2)新体操女子は、全国大会出場基準を満たしている中で最も順位の高い、~~団体総合選手権チーム~~、及び個人総合選手権上位2名が、北海道代表として全国大会への出場が認められる。
期日：令和8年(2026年)8月18日(火)～20日(木)
会場：鳥取県鳥取市：ヤマダスポーツパーク（鳥取県民体育館）
- (3)全国大会へ参加する際の宿泊について、宿泊要項において実行委員会から斡旋されている場合は、斡旋された宿泊を必ず利用すること。

17. 個人情報の取り扱い

- (1)大会参加者の氏名・所属・学年はプログラム、掲示板、ホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
- (2)選手の大会成績はホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
- (3)選手の写真は、記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
- (4)選手の生年月日は、年齢を確認するために利用する。
- (5)引率者または監督の連絡先は大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。

18. その他

- (1)出場する選手は、該当種目の公式練習および競技が行われる日の設営と撤去に必ず参加すること。
- (2)表彰式を行う日に、該当種目に出場した選手と入賞した選手(チーム)は、表彰式に参加すること。(表彰式に参加できない場合は、事前に申し入れを必ず行う)。
- (3)登録選手を出場させる地域クラブ活動の監督は、他学校(他の地域クラブ活動)の監督や引率者・外部指導者(コーチ)の登録はできない。学校と地域クラブ活動の外部指導者の兼任は可とする。
- (4)音楽伴奏はCDまたはポータブル音楽プレーヤー等とし、各自で再生用の機材を用意する。
- (5)「監督会議」については実施をしないが、監督は必ず受付を済ませること。受付のない学校は大会に出場できないこともある。会議の資料については、大会参加申し込み終了後10日程度で北海道中体連ホームページに掲載する。大会についての連絡事項も、ホームページに掲載することがある。
- (6)アリーナ内での監督やコーチの服装は全国大会の遵守事項に順ずる(ハーフパンツやサンダル、外部指導者についてはクラブチーム名の入ったTシャツは禁止)。
- (7)参加料の領収証は、大会当日に受付で配布する。
- (8)暑熱対策のため、会場の判断で空調施設を使用する場合がある。
- (9)全国大会への出場について、順位による選出ができない場合は、全国中学校体育大会体操競技の「遵守事項」タイブレークに則り選出する。それでも選出できない場合は、選手本人による抽選によって選出する。

抽選に参加できない場合は出場資格を失う。

- (10) 本大会の結果により 2026 年全国ブロック選抜体操競技選手権大会 U-15 の中体連枠出場権が男女とも 1 名に与えられる 『詳細（全道大会諸連絡）参照』。